

I T U C メーカー声明：ひとつの世界：雇用、所得、社会保護

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的大流行（パンデミック）が世界中で大惨事をもたらす中、私たちは人類史上最高の連帯感を経験している。

コミュニティ内でのウイルスの急速な拡散を防ぎ、高齢者や持病のある人々を保護するために、現在では世界のほとんどの人口が閉鎖と隔離に陥っている。生活や生計が脅かされる経済的・社会的影響により、あまりにも多くの国で低賃金の不安定な労働者が負担を強いられており、仕事の世界を混乱させている。パンデミック対応の焦点は、封じ込めと緩和、そして最前線で働く医療・介護従事者や、その他多くの重要な産業（セクター）の人々を支援することにある。ウイルスの拡散に対して、世界中のあらゆる職場が闘っている。

5月1日、メーカーのこの日、私たちは人命を救い、重要な製品やサービスを提供するために、不可欠な仕事をしている医療、介護、その他の最前線の部門の労働者に敬意を表す。

何万人もの人々が死亡し、さらに多くの人々が長期にわたり健康被害を受けることになるであろう。2億人の雇用が失われ、何百万人もの人々が再び貧困に陥る危険にさらされ、すでに存在していた甚大な不平等はさらに深まっている。不十分な、あるいは社会的保護を受けていない世界の人口の3分の2は、深刻な状況にさらされており、多くの人々が貧困と飢餓に直面している。

この危機の影響は、働く女性や男性に課せられていたグローバリゼーションのモデルの失敗を残酷にも露呈している。公衆衛生システムは緊縮財政によって衰弱し、何百万人もの労働者の権利が侵害されたままになっている。差別に直面している女性、移民労働者、少数民族、その他の人々は、特に重荷を背負っている。これを変えなければならない。

この危機への解毒剤は、歴史を通じて、そして今日に至るまで、労働組合の生命線である連帯にある。すべての国が協力して新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の最初の波を乗り越え、将来に備えなければならない。私たちは危機に取り組み、国民の賃金と所得支援を確保するため、社会的対話を十分に活用している政府に拍手を送る。私たちは国内、あるいは国際的に、他の国の組合との協力を拒否し、パンデミックの現実を否定し、あるいは自国の人々に、莫大なコストをかけて暴力と人権侵害を許す政府を非難する。私たちは、危機から利益を得ようとしている企業犯罪者を同様に非難する。私たちは、すべての企業が労働者の権利を尊重することを要求し、政府がそれを確認することを要求する。私たちは極右と闘うこと、極右がこの危機から利益を得ること、そして民主主義および人権をさらに弱体化させることを阻止するために、私たちのコミットメントを再確認する。

誰も取り残されてはならない。公衆衛生とケアへの大規模な投資により、すべての人

がアクセスできて、また、すべての労働者の権利が完全に尊重されるようにすることが、復興・再建・強靱性の中心でなければならない。

世界経済の再生には、次の3つの主要目的がなければならない：

○雇用：何百万もの雇用が破壊されている。完全雇用が目標でなければならない、すべての人のためにディーセント・ワーク、健康で安全な労働条件、不安定雇用の終焉、インフォーマル・ワークのフォーマル化が必要である。

○所得：グローバル・エコノミーの賃金シェアは何十年にもわたって低下しており、この危機で急落する危険性がある。最低生活賃金はあらゆる場所で実施されなければならない、団体交渉の権利はすべての労働者のために確保されなければならない、男女の賃金格差は解消されなければならない。

○社会的保護：何十億人もの人々が社会的保護を受けずに放置され、壊滅的な健康被害と、この危機の経済的影響から、重大な危険にさらされている。今こそ、すべての人のために社会保護に資金を提供する、世界的な協力の時である。世界は今、最も必要としている人々に背を向けることはできないし、包摂的で強靱性のある未来の再建にも背を向けることはできない。

これらの目標は経済を再生し、地球上で生きるすべての人のため、健康と福祉を確保するために重要なものである。私たちは、すべての政府と国際機関がこれらの目標を達成するために協力することを求める。

どこにしようと、どんな違いがあろうと、私たちはひとつの世界で生きている。労働組合は連帯が機能することを知っている。私たちは全世界のために、連帯を生かさなければならない。

今年のメーデーでは、パンデミックの最前線で働く仲間を称えるために、ツイッター (Twitter)、フェイスブック (Facebook)、インスタグラム (Instagram) で #MayDay を使って写真やストーリーを共有するか、Eメールで press@ituc-csi.org 宛に直接送ってほしい。また、動画の素材がある場合は、Labourstart May Day の特設ページに送ってほしい。